わき 議会だより

第135号 2024. 5. 1

ふるさと納税の大幅減少……p２・３
令和６年度一般会計予算　41億7045万円
財政改革の一歩か……p４
町職員旅費支給条例の改正
一般質問〈６名が町政を質す〉…p５～７
二次元コードから議事録が見れるようになりました
議会町づくり懇談会……p８～11
和木１丁目～５丁目

和木町議会広報広聴常任委員会　E-mail：gikai@town.waki.lg.jp

財政運営のきびしさ続く

一般会計 41億7045万円
予算総額 61億9564万円

万円 ⇒ 令和6年度寄付額予定 500万円（対前年度比95%減）

令和6年度3億489万円・令和6年度末の基金残額約11億円
000万円・石油貯蔵施設立地対策補助金6500万円に依存

町道整備　3700万円・火葬炉設備改修 620万円・瀬田2丁目配水管布設 2700万円）

〈新 規 事 業〉

福祉関連

○妊産婦タクシー助成　38万円
妊産婦の医療機関などへの利用を助成
1人5千円×70人

○多胎妊婦健康審査助成　5万円
妊婦検診を5回分追加

○屈折異常等視覚検査器（スポットビジョン）購入　154万円
3歳児検診で視覚異常の早期発見・早期治療につなげる

○帯状疱疹ワクチン助成　100万円
1万円×50人×2回

○新生児聴覚検査の助成　32万5千円

結果がすぐわかる視覚検査器

建設関連

○道路改良工事　4100万円
新大和橋通り線200m　2600万円
苗代床B,C線80m　1500万円

○飼育小屋等整備　1300万円
恵庭市よりアルパカ2頭を譲り受ける費用

○緑ヶ丘団地第1棟外構整備　5500万円

○瀬田2丁目配水管布設　2700万円
蜂ヶ峯への入口　400m管布設

○下水道大竹圧送仮設管撤去　5562万円

公園の新しい人気者に

教育関連

○中学校校舎外壁改修　6970万円
クラック等の修繕

○文化会館冷却塔更新　2420万円
屋上の空調冷却塔が劣化したため更新

○歴史資料館解体物処分　130万円
展示物は返却、保管、文化会館で展示し他は廃棄処分する

○旧保育所解体撤去準備　426万円
建物の老朽化、耐震性不足のための解体

老朽化のため解体する旧保育所

ふるさと納税寄付額の大幅減少により

令和５年度寄付額 ４月～９月 １億340万円、10月～２月 327

財政調整基金（貯金）の取り崩し　令和５年度 ４億6937万円・公共施設の改修工事は米空母艦載機部隊配備特別交付金約２億５

〔主な改修工事は、中学校校舎外壁改修 6970万円・文化会館冷却塔更新 2420万円・

予算委員会 審議

歳入

問 地方交付税が９億１千万円で令和５年度より増加の理由は。（明本委員）

答 令和４年度の町民税が３億円の増収で、令和５年度は普通交付税が大幅な減収となっている。そのため、令和６年度の普通交付税は令和４年度の水準に戻るものと試算したため。

問 蜂ヶ峯公園有料施設使用料が昨年度より４００万円減額された理由と令和６年度の事業計画は。（灰岡委員）

答 コロナ感染症が５類に移行したことにより、各地でイベントが開催され来園者が分散されたことによる。

パリ五輪を見据え、秋にメダル獲得の確率が高いアーバンスポーツのイベントや有名選手の誘致を予定。

公園の人気SLはっち号

問 石油貯蔵施設立地対策等補助金６５００万円のはずだが、令和５年度は６１００万円、令和６年度は４１６０万円となっている。その減額理由は。（三分一委員）

歳出

問 総合計画策定をどのように進めていくのか。（上田委員）

答 令和６年度に計画策定委員会を立ち上げ、住民アンケートを実施後データ収集、整理、分析などを行う。令和７年度は、庁内各課でヒアリングを行い計画素案を策定し、パブリックコメント実施、計画策定完了。

問 妊産婦タクシー事業の内容は。（灰岡委員）

答 妊娠届を提出の際に申請できるよう調整し、助成金額１人５千円（５００円×10枚）、有効期限は交付から14ヶ月間、事業開始時期は７月頃を予定。

問 コミュニティバス１５７万円の増額理由は。（上田委員）

答 バスの運行を継続するため運転手の待遇改善に必要な予算として計上。

住民の生活を支えるあいあいバス

問 障がい児通所給付費の増額理由は。（中村委員）

答 ３年に１度の報酬改定や、療育関係の児童ほとんどが利用しており、増加している。

←p12に続く

３月定例会

財政改革の一歩か

町長・町職員の旅費、議員や特別職の職員等の費用弁償の減額

減額効果　３１０万円

３月定例会は、３月４日から３月15日までの12日間の会期で開かれ、初日に町長が令和６年度の施政方針演説を行いました。議会は令和５年度補正予算、令和６年度一般会計予算、特別会計予算など報告３件、議案30件を審議し、原案通り可決しました。

和木町職員旅費支給条例等の一部改正では、旅費や費用弁償の減額に対し職員の労働環境が悪化すると反対がありましたが、賛成多数で可決されました。

一般質問では、６名の議員が登壇し、行政全般にわたり町政を問いました。

＊和木町職員旅費支給条例等の一部を改正する条例

○職員の旅費を２５００円から１０００円に減額
○議員の費用弁償を２５００円から１０００円に減額
○特別職の職員で非常勤の者の費用弁償を２５００円から１０００円に減額
※費用弁償とは会議や委員会に出席する際の交通費

問　**この改正に職員労働組合は同意しているか。３００万程度の減額ということだが、人件費で減額するより財政で見直すべきではないか。**
（上田議員）

答　現在協議中である。今回は人件費の減額ではなく、旅費を１０００円に減額しても他の自治体と比べるとまだ有利な状況である。
（田中副町長）

反対討論　上田議員
この改正は労働環境の改悪であり、議会中においても組合との交渉が続き組合に対し抑圧となったこと、近隣市町より優遇されていることを、改正する理由にしており反対する。

賛成討論　灰岡議員
和木町の財政が厳しくなっている現状の中、和木町職員は近隣の市町と比較しても、依然待遇において優遇されており、今回の改正は妥当な判断と考え賛成する。

反対　上田・嘉屋、賛成　７人
〔賛成多数で可決〕

＊山の手駐車場条例の一部を改正する条例

問　**物価の高騰が続く中での駐車場の値上げは町民の負担になるのではないか。**
（上田議員）

答　町内の他の公的料金値上げも含め、ある程度引き上げないと町として成り立たなくなる。
（副町長）

反対討論　上田議員
利用者の方にとっては、物価高騰で生活に支障をきたしている中での利用料値上げを反対する。

反対　上田、賛成　８人
〔賛成多数で可決〕

＊道海公園条例の一部を改正する条例

駐車場料金を月額２５００円から月額３０００円にするもの。

問　**近隣市町の公的な墓苑との比較はしているのか。**
（津島議員）

答　霊園の永代使用料を56万円から60万円に改正する。
和木町と同じ面積で比べると岩国市は54万円から99万円、大竹市は40万円から１５０万円で共に墓石の製造費は含まれていない。

＊消防団条例の一部を改正する条例

団員が役員会に出席するときの出動報酬を２５００円から１０００円に改正する。

問　**団員の成り手不足の現状で削減するのは団員のモチベーションがさがるのではないか。**
（嘉屋議員）

答　この改正は、消防団の部長以上が団の今後の活動内容について年４回ぐらい話し合う会議用の費用であると考えていただきたい。
（副町長）

反対討論　上田議員
災害時に消防団は町にとって大事な存在であり、人材不足などを考えると改正すべきではないと判断し反対する。

反対　上田・嘉屋、賛成　７人
〔賛成多数で可決〕

補正予算

＊一般会計で減額した補正事業

◎ふるさと納税　９８０万円
地場産品の基準を、国が10月から厳格化したのに伴い人気を集めていた紙製品の寄付額が大幅に減ったため。

◎国際交流事業　６８５万円
・ニュージーランドへのホームステイ事業を30名予定していたが10名に減ったため。

Q 4丁目引き込み線跡地南側の道路を拡張できないか

かや とみひろ
嘉屋 富公 議員

A 都市建設課長　山口財務事務所は暫定、分割利用を考えていない

質問　引き込み線跡地検討委員会の活動はどうなっているのか。

課長　有効な計画案もないことから休止している。

質問　4丁目引き込み線跡地の法面を削って道路を拡張して緊急車両が通行できるようにならないか。

課長　法面を削って暫定利用できないか、過去に協議をしたが認められなかった。

質問　町長は引き込み線跡地について、今後の展望、計画があれば、伺う。

町長　引き込み線跡地の多くが、民間宅地になることが転売の禁止に該当することから、現時点では具体的な展開は考えていない。また、引き込み線跡地の全てを公共施設として利用することは、整備事業に加え、相当な維持管理費も必要になることから、今後も山口財務事務所と協議を重ねて、有効な施策を見出せればと考える。

どうなる引き込み線跡地

Q 水道管、下水道管の今後の対策は

なかむら みつこ
中村 充子 議員

A 都市建設課長　両施設とも老朽化は著しく耐震化事業は急務である

質問　大きな災害が起きたら水道管はどうなるのか。併せて下水道管は現在どうなっているのか。

課長　和木町がおこなっている水道事業について、瀬田地区及び関ヶ浜地区においては簡易水道事業として管理・運営をしている。和木地区は岩国水道局により市の給水区域として適切に管理されている状況である。

和木町の簡易水道は昭和38年に供用開始され、今年度で60年を経過しており、老朽化対策が急務となっている状況にあり適宜、改築・修繕をおこなっているところである。

現在、簡易水道においては、適宜、新年度についても予算計上している。老朽化の著しいところから改築更新してまいりたい。

質問　下水道を新設せず、悪い箇所を修繕しながら下水道は使い続けられるのか。

課長　今後も持続可能な下水道事業を実現するために、優先順位を定め、計画的かつ効率的な維持管理をおこなって参りたい。

試算については困難だが、両施設とも老朽化は著しく耐震化事業は急務である。財源の確保も今後厳しい状況であると認識している。

工事期間中の住民への負担にも配慮しつつ、工事費の削減に向けた一括施行による改築・更新工事の実施について検討してまいりたい。

和木4丁目水道管の新設工事現場

Q 和木町に「ふるさと納税」は必要か

つしま ひろやす
津島 宏保 議員

A 企画総務課長　ふるさと納税による寄附金は、一般財源としてありがたく有益なもの

質問　直近5年に寄附されたふるさと納税の合計金額、平均はいくらか。

課長　平成30年度5，526万円、平成31年度7，620万円、令和2年度6，833万円、令和3年度9，133万円、令和4年度1億2，077万円、合計金額4億1，192万円、年平均約8，238万円である。

質問　寄附された財源は、何の事業に使われているのか。

和木町自慢の返礼品「天然うなぎ蒲焼き」
※ふるさとチョイス和木町返礼品画像より引用しています。

課長　主として教育、中・高生の海外派遣、給食費無償化の継続、各種検定の助成、子育て支援などの施策に大切に活用している。

質問　令和5年度はどのような見込みか。

課長　10月からの新ルールへの改定による駆け込み需要により、4月1日～9月30日までの寄附額は、1億330万円（対前年比約180％増）。

一方、10月1日～11月31日までの寄附額は、285万円（前年比96％減）と落ち込み、令和5年度寄附額は、1億800万円（対前年比で約11％減）を見込んでいる。

Q 町制施行50周年以降のイベントは

あけもと みつひろ
明本 光弘 議員

A 企画総務課長　各団体の要望に応えたい

質問　今年開催されたイベント等を、来年度以降も継続できるよう取り組んでいただきたい。

課長　令和6年度以降も和木町のにぎわいづくりや地域社会の発展に寄与できるような各団体の要望に応えてまいりたい。

質問　「るるぶ」は何部発行し、どのように使われているか。

課長　フルカラー12ページで1万部を発刊した。

配布先の自治体から多くの問い合わせや、追加配布の希望もあり、好評をいただいている。「るるぶ和木町」の再配布希望の意見が多ければ増刷も視野にいれていきたい。

情報発信で評価されている「るるぶ」

質問　WAKIコンサートにおける第九のコンサートを、年に一度の年末の恒例行事として継続できるよう取り組めないか。

教育委員会事務局長　文化協会の方と協議しながら実施できるかどうか、人的、予算的なことも含めて検討してまいりたい。

＊国民健康保険料について

質問　保健事業の内容と医療費への負担軽減は？

保健福祉課長　令和5年度の特定健診は1月末受診率40・8％。早期発見、早期治療につながり医療費の抑制につながればと考えている。

Q 人口減少を視野に入れた総合的な町づくりは

うえだ じょうじ
上田 丈二 議員

町長 A 人口が減って行くスピードを緩めるよう考えていく

質問 定住対策として周防大島町では、空き家対策を利用して安価な賃貸住宅に利用しているが検討できないか。

企画総務課長 和木町内には特定空き家が少なく、今後賃貸住宅が不足し定住対策として空き家のリフォームに対する助成が必要と判断したときに事業化を検討する。

質問 雇用を増やすために地域おこし協力隊を起業型にするなどの検討をし、ベンチャー企業誘致の検討をできないか。

課長 今まで2名の地域おこし協力隊を受け入れ、起業・定住に結び付いている。良いものは参考にしつつ、地域おこし協力隊員による町の活性化を図っていきたい。

質問 安心な町づくりも必要であるが、瀬田、関ヶ浜地区の雨水対応について検討が必要ではないか。

都市建設課長 必要に応じた雨水対策を国や県と連携し、安心・安全なまちづくりに努めていく。

質問 町長に人口減少を視野に入れた総合的な町づくりについて施策があれば伺う。

町長 和木町の人口が減ることに対してこれまでもいろんな事をやってきた。これからもやっていく。スピードを少しでも緩める事を考えていきたい。

支流より低い地域

Q 能登半島地震を受けての防災対策は

もりわき あけみ
森脇 明美 議員

企画総務課長 A 見直しが必要な場合その対策を検討する

質問 災害時の備蓄状況を問う。

課長 保存水2Lペットボトル228本、非常食590食、テント60張り、毛布429枚、簡易トイレは備蓄がない。

災害時に備えての備蓄品
（毛布、飲料水、など）

質問 和木町での高齢者や障害者への個別避難計画の状況は。

課長 土砂災害警戒区域に在住する要配慮者を対象に、9地区64世帯79名の個別避難計画が完成し、現在運用中である。

質問 三井化学㈱岩国大竹工場と町が締結した「災害時等における避難所としての使用に関する協定書」及び「覚書」に基づいた三井体育館の使用手順を伺う。

課長 町が三井化学の体育館を指定避難所にすると判断した場合、三井化学に許可を得た後に職員を派遣して、避難者を3階アリーナに受け入れる。

質問 三井体育館を避難所として開設する要件は。

課長 町で、「氾濫危険情報」が発表された場合や、瀬戸内海沿岸に「津波警報」「大津波警報」「高潮注意報」「高潮警報」などが発表された場合は可能。

避難所として指定されている三井体育館

談会

関ヶ浜地区　瀬田地区　和木1・2・3丁目　和木4・5丁目

課題を議会で審議

総務文教常任委員会

＊こども園の定員について

問 **来年度のこども園の定員数と定員増に対応はできるのか。**（森脇委員）

答 現時点で、0歳児については、定員以上の申し込みがあり、年度途中で待機児童が発生する見込みであるが、受入に向けた弾力的な運用の検討や広域利用等の調整を図りたい。

定員増が望まれるこども園

問 **人口減少の抑制として、転出を減らし定住者を増やすために宅地を増やすことや空き家問題を考えているのか。**（森脇委員）

答 対策として町有地の売却を検討し、安価な賃貸住宅の建設の促進及び、持ち家の新築、購入する方に対する利子補給及び建設奨励金の交付、町内で起業する人への助成（最大50万円補助）を実施している。

＊防犯パトロールについて

問 **新型コロナウイルス感染症の蔓延で休止状態にあった町内の防犯パトロールは再開されているのか。**（上田委員）

答 コロナ禍でも継続しており、和木中学校の保護者・教員・教育委員会及び企画総務課を中心に、年4回程度パトロールを実施している。

問 **大竹市への買い物や広島西医療センターへの通院などに利用できるバスの運行を大竹市と協定を結べないか。**（上田委員）

答 あいあいバスは交通空白地有償運送の制度を活用して運行しており、既にサービス提供のある大竹市内にあいあいバスは運行不可であり、別の運行形態での追加運行も現実的ではない。

問 **車の免許返納者に対するタクシー券の補助を検討できないか。**（上田委員）

答 免許返納者に対するタクシー券の配布拡充は検討していない。

＊注意喚起のためにカラー塗装は

問 **農協前と播岡薬局の道路に注意喚起ためにカラー塗装できないか。**（中村委員）

答 農協前はカラー塗装済みであり、播岡薬局前の交差点は、クロスマークを表示の工事を行い注意喚起している。

安全性向上のクロスマーク

＊予約サイトのシステム導入は

問 **公共施設の予約を近隣市町では、「ひろしま・やまぐち公共施設予約サービス」サイトを利用して予約が可能になっている。システム導入の費用や運用の費用は。**（三分一委員）

答 基本導入費は約55万円であり、予約対象になる一部屋につき1万7千円。運用費用は、部屋数により変動、最低料金は月額5万円。

その他の質疑

問 **再度、小瀬川沿いの遊歩道に安全、防犯のために、街灯の設置を要望。**

答 設置の検討中で管理者の許可が必要となり、財源も含め考える。

問 **議会棟側駐車場内のラインが消えかかっている。また、斜めの駐車ラインは、止めにくいので検討を。**

答 消えているラインは、補修を検討する。斜めの区画割ラインは、効率よく多くの方に駐車できるようにした結果であり理解をいただきたい。

問 **ボランティアの一環として中学生に町内の草抜き、ごみ拾いなどに参加してもらうことはできないか。**

答 学校においては、自発的参加の意思を尊重しており、社会奉仕の精神や地域社会への参加の尊さ、喜びを指導していく。

問 **イングリッシュスポーツイベントの継続を望む声が多いが検討は。**

答 町制施行50周年記念事業の一環として実施したもので、新年度での実施予定はない。

問 **健康維持の目的でトレーニングジム設置を希望する声が多いが検討は。**

答 現在の体育センター施設では、設置場所の確保、機器のメンテナンス、指導者の確保など財政、人的確保の面から設置は困難である。

委員会NOW（ナウ） 議会町づくり懇

和木1・2・3丁目での

民生建設常任委員会

＊水路をきれいに

問 派出所付近の水路をきれいにするために水量を増やすことや、安全と景観を損なわないよう対応はできないか。（嘉屋委員）

答 かんがい用水として取水しており取水量が決まっている。安全対策として蓋掛けの要望も出ており、維持管理など考慮し検討する。

安全性と衛生面が問題

＊敬老金の支給について

問 将来を考え敬老金の支給について考え直す時期ではないか。（灰岡委員）

答 現時点で支給の見直しは考えていないが、財政状況次第では支給額の減額について検討することもあるのではないかと考えている。

問 和木町において障がいのある方や障がいのある児童・関係者の生活に関する相談窓口はどこで対応しているか。また、障がい者の就労支援事業の現状は。（兼本委員）

答 和木町保健福祉課、岩国市内の岩国市障害者サービスセンター、障害者地域支援センターしらかば、地域生活支援センタートライアングルで対応。町内には就労支援事業所がなく、他市町の事業所を利用することになる。

＊私有地道路の舗装について

問 町道で狭い道や個人の所有となっているが、生活道路として活用されている道路の舗装整備については。（津島委員）

答 生活道路が私有地の場合は舗装整備については困難、公共下水道管が敷設されている場合は修繕、整備を検討する。

問 前回質問した和木四丁目道路の規制についての結果は。（嘉屋委員）

答 岩国警察署交通課と協議したが、警察による規制はできない。町の対応として停止指導線の塗装を実施した。

問 緑ヶ丘住宅解体後の利用計画については。（嘉屋委員）

答 現時点で跡地の利用計画は決まっていない。

＊地域活動支援センターの運営は

問 和木町地域活動支援センターの運営状況と今後施設の有効活用は。（兼本委員）

答 指定管理者として社会福祉協議会が管理運営している。障害者2名、支援者2名で週3回見守りパンや、定期販売、イベント時に販売するパンの製造作業をおこなっている。社会福祉協議会の財政状況が厳しい事から運用や方向性については協議していく。障がいのある方の創作活動や交流の機会を提供する場として活用していく。

問 社会福祉協議会の財政状況を含め運営を考える時期ではないか。

答 社会福祉協議会の運営に町が指示を行う立場にないと考えている。事務事業の見直しや経費の削減、助成金の見直しによる持続的、安定的な運営に努めたい。

問 養専寺から和木郵便局までのアスファルト舗装は高品質である理由は。

答 交通量や全線が通学路になっているなどの状況を鑑みて中道については排水性舗装を施行した。

問 町民プール横のカイヅカイブキが道路にはみ出しているので伐採を。

答 伐採は考えていないが、歩道上にはみ出している枝木については、歩行者の支障が無いよう剪定を実施する。

問 役場前丁字路交差点のゼブラゾーンが消えかけている。補修塗装できないか。

答 要望箇所は県道（県道北中山岩国線）なので、道路管理者である山口県に要望する。

問 中学校周辺の水銀灯を、防犯対策向上のためにもLED灯と交換できないか。

答 水銀灯の生産が終了しており、球が切れたものからLED灯へと交換している。

問 和木中学校前の水路がごみ、沈殿物などで汚れているが対応は。

答 水路の端部のスクリーン付近の清掃を年に1回、水路全体の清掃はおよそ5年に一度実施している。問題があれば対応を検討する。

2班

①国道２号和木交差点、平和プロパン前の歩道が狭くて見通しが悪く、危険を感じる。改良工事を要望する。
②国道２号和木交差点は、栄橋方面から下り坂になっているため自転車のスピードが出やすく、また縁石部の歩道幅が急に狭くなっており、出会い頭の事故の危険性が高い。検討が必要では。
③旧チェリー美容室向かいの交差点（引込線沿い）は、見通しが悪いため、カーブミラーが設置されている。しかし朝夕の通勤・通学時間帯では、自転車・自動車の衝突の可能性が高い。警告表示等の検討が必要では。
④役場に届け出る様々な申請書を電子申請できるようにして欲しい。
⑤災害時に、どこに避難してよいかわからない住民が多い。もっと周知して欲しい。
⑥大地震時にすぐに避難できない可能性がある。現状が役場に伝えられる→役場から三井化学に連絡→避難所開設→近隣住民の避難では、遅くなってしまう。三井化学との取り決めで早期に避難できるようにして欲しい。
⑦直接現金給付は、目的に沿って使われているかどうか不明である。敬老金や子供に対する直接現金給付はやめ、目的に沿うような方法を検討すべきではないか。
⑧蜂ヶ峯に通じる道路沿いの桜が伐採されている。その後はどうなるのか。
⑨町内の空き家が目立つようになってきている。行政も介入して何とか対策を考えて欲しい。
⑩国道２号和木交差点、陸橋の東側らせん階段の照明が故障しており、見えにくい。早期に修理を。

3班

①若者が都会にあこがれを持つためか、若者の人口が減っている。仕事場を作り、若者が居つく町にして欲しい。
②近年、上灰場や引き込み線の下のごみステーションの周り、国道沿いや小瀬川遊歩道などに、ごみやたばこの吸い殻、犬のふんなどが増えている。美しい町づくりを考え、ごみのポイ捨てが無くなるよう看板を立てる等の工夫が必要では。
③和木小から国道までの中道の水路の清掃で、高齢者が多くなり、重量のあるグレーチングの開閉が難しくなってきた。今後、水路の清掃を検討して欲しい。
④JR 西側の中道から小瀬川までの法面の除草は現在、自治会が行っている。できれば JR や業者に刈って欲しい。危険防止のため、フェンスを立てて欲しい。
⑤国道２号線の栄橋から引き込み線の間での除草作業において、交通量も多く除草が困難である。国道管理者に除草をして欲しい。
⑥国道から町道へ抜ける道で、車がスピードを出しすぎ危険である。規制はできないか。
⑦下水道遊園地にヒマラヤ杉が切ったまま置いてあり、子供達が遊ぶのに危険である。除去して欲しい。
⑧小瀬川での水遊びが禁止されている。干潟観察などは盛況であるので、もっと川に親しむ方向性も検討したらどうか。また川に飛来する鳥の看板を立てたらどうか。
⑨蜂ヶ峯に上がる町道沿いの桜の木が切られている。ツツジでも植えたらどうか。

第13回

議会町づくり懇談会

和木４・５丁目の皆さんと開催

～ 防災から人口減少問題と幅広い要望が上がる ～

議会は２月17日（土）和木４・５丁目地区の皆さまを対象に、和木４丁目第２集会所で町づくり懇談会を開催しました。

懇談会では、能登半島地震を受けて防災問題や子育て支援、人口減少問題、高齢者の生活支援等さまざまな問題や意見が出され、真剣な意見交換がされました。

議会は問題を解決できるよう取り組んで参ります。

１班

①町内の集会所のトイレ、玄関の入り口など段差がある。高齢者・障がい者の方の利便性を考えて欲しい。

②災害時の対応が不安である。町内の避難訓練を。避難道路も必要では。

③４丁目引き込み線横の町道が狭くて消防車、救急車などが入らず、緊急時に不安がある。

④役場近くの墓地では個人所有のバケツや手酌が置いてある。町での設置を検討して頂けないか。

⑤瀬田川の大谷地区付近にマットや段ボールが捨てられている。町に処理をお願いしたが、撤去に半年かかっている。早い対応を望む。

⑥郵便局の前のカーブミラー（堤防側が特に）は車両の確認がしづらい。調整を。

⑦中学校裏のテニスコート内が荒れており、プレイに支障をきたしている。整備をお願いしたい。

⑧出産前や産後時の病気、入院時の子どもの保育料が、子育て世代の負担になっている。助成金を増やして欲しい。書類の申請については、メールなどで出来るようにして欲しい。

⑨公共交通のあいあいバスでは障がい者の方が利用しにくい。車椅子での利用を考慮し、改善できないか。

⑩ＪＡ山口県和木支所の３階を避難場所として利用できないか。

⑪和木ゴルフ場の利用税が近隣のゴルフ場より高い。健康増進図るために60歳以上の利用税を免除できないか。

⑫高齢者や町民の健康寿命を維持するイベントや運動器具・施設が少ない。幼稚園・保育園で利用していた運動器具を検討できないか。

問 **後期高齢者医療広域連合負担金8206万円の増額理由は。**（三分一委員）

答 山口県全体の高齢者人口が増加（和木町は減）し、一人当たりの医療費も増加しているため。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

問 **任意予防接種助成金の内容は。**（森脇委員）

答 インフルエンザ（6か月～12歳420人接種2回）、インフルエンザ（中3除く13歳～14歳78人 接種1回）、おたふくかぜ（1歳32人と年長児50人 接種1回）。新規の帯状疱疹ワクチン（1万円×50人 接種2回分）100万円。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

問 **新規設置されるこども家庭センター（764万8千円）の設置場所と補助金は。**（森脇委員）

答 保健相談センターに、子育て世代包括支援センターと子ども家庭総合支援拠点を統合し設置する。この事業の補助金は子育て支援国庫交付金、子ども子育て支援交付金。

子育て支援の重点施設保健相談センター

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

問 **屈折異常等視覚検査機器（スポットビジョン）154万円の内容及び維持費は。**（灰岡委員）

答 3歳児検診時に使用し、検査内容は近視、遠視、乱視、不同視、斜視、瞳孔不動の検査を行う。維持費は保守契約2年で24万2千円と高額のため計上していない。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

問 **蜂ヶ峯総合公園管理運営事業の飼育小屋等整備工事費（1300万円）の内容は。**（中村委員）

答 町の観光資源である蜂ヶ峯総合公園の目玉として、姉妹都市恵庭市より譲渡されるアルパカの飼育小屋の建築費用1000万円、周辺整備200万円、輸送費など100万円。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

問 **消防防災一般事業の一般備品（385万4千円）の内容は。**（森脇委員）

答 こども園のAED2台を更新（77万円）、災害時に避難者が快適に過ごせるようにガス発電機（308万円）を導入する。

対応期限切れで購入予定

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

問 **中学校外壁工事（7000万円）の内容は。**（嘉屋委員）

答 校舎外壁全体の補修工事を行い足場の設置工事も含む。工事内容はひび割れ補修・欠損部補修・断面補修・外壁塗装・塗膜防水など。

外壁改修が必要な中学校舎

編集後記

和木町の皆様、やっと新型コロナウイルスの感染防止対策が終わり、日常生活を取り戻しつつあるこの頃です。

健康といえば、町では今年度より帯状疱疹のワクチン接種補助を行いますので、どうぞご利用ください。

私は春の山菜が大好きで、コゴミを本郷まで取りに行きます。取りに行ったコゴミをピーナッツ和えにして、食べるのを楽しみにしています。実は和木町のはずれ小瀬川上流の河原でも、見つける事ができますので宜しければ探してみてください。

今年も町民の皆様の声を聴きたく懇談会を計画しておりますので、よろしくお願い致します。

（上田 丈二）

発行責任者
議長 兼本信昌

広報広聴委員長
森脇明美

広報部
上田 丈二　中村 充子
明本 光弘　三分一 淳

議会だより わき 第135号 2024（令和6）年5月1日発行 発行者/和木町議会 編集/和木町議会広報広聴常任委員会 〒740-8501 山口県玖珂郡和木町和木1丁目1番1号 TEL（0827）52-2137 E-mail：gikai@town.waki.lg.jp